

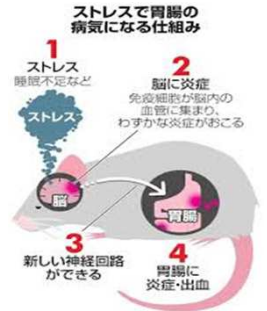
病人に「健康ですか？」・・・

なんて問いかけたら、「あなたの頭は大丈夫ですか？」と、逆質問されるか「病人が健康な訳ないだろう！失せろ！」と、叩き出されるかするだろう。健康とは、現在の状態が良好か不調かの目安を云うのであって、既往症(病氣)に罹っていない状態の事だから、鼻風邪くらいなら「健康です!」インフルエンザに罹っていたら「風邪で不調です!」が正解。

それでも、適切な処置を施し病気になんぞ負けていられない元気を保っていれば、「元気です」で、良いでしょう。昔から『病は氣から』で、既往症(病氣)にさいなまれ気持ちまで病んでしまっは、病人になり切って長患いの身になってしまいますから、気を高めることに関心を寄せましょう。

気を高める方法は色々ありますから、人それぞれに自分に合った方法で、やっておられる方も居るでしょう。氣功は体と心を整えながら鍛える効果があるとされ、中国では法輪功学習者として**集団で実施していた事に、中国共産党の脅威とみなされ、悲劇が始まったという事は周知の通り**です。氣功も、エアロビクスも、太極拳も有酸素運動で、脳に新鮮な酸素を送り込んで活性化させ、気を高める方法で、運動と共に呼吸法がより大切だということでもあります。

<https://www.youtube.com/watch?v=y1y-VWwd8Ts> 脳内物質の解説



運動はしなくても、呼吸を整え精神を安定化させ、気を高める禅という方法もあるでしょうが凡人には出来そうもありませんから、精々腹式呼吸でも繰り返して、脳に酸素を送り気を高めましょう。

中共ウイルスに対するワクチン開発競争が世界中で行われている中、米国ファイザー社が90%の有効性が臨床試験で見られたとのことで、認可申請の段階に入ったというニュースが流れた。同じく米国のモデルナ社は94.5%の有効性を発表し、EUのアストラゼネカ社も追随しています。これらのワクチンは、『生ワクチン』のようで、-20℃～-70℃で保管・移動しなければならない物のようだ。日本ではおなじみの、クール宅急便の冷凍便は-15℃以下となっていて、とてもこれでは間に合わない。(Pure/Thaiローヤルゼリーは-20℃で保管しておけば1年間品質が保てる)

来年の1月から6月にかけてモデルナ社のワクチン2000万人分を日本政府が発注契約したという事です。臨床検査中に倦怠感・筋肉痛・頭痛などの副作用も報告されていて、無症状感染者が免疫力をつけるのと、ワクチン接種を受けるのと、どちらを選択するか難しそうですね。

何れにしても、今年は年初からコロナ・コロナで全世界がパンデミックに陥り、第二波が収まった途端に、第三波が大きな波として毎日のように新規感染者数が報道されている。インフルエンザ流行の季節に入っても、中共コロナは単独で拡散している。

中共コロナ陽性者がインフルエンザに罹ったら一体どんな事になるのか？重症化・重篤化したら死者数は急速に増加するのではないかと想定しているのだろうか？その対策の話は一切、聞かえて来ない。日本政府・専門家バカ共の常套句「想定外の事態に陥った」で済ますのだろうか？国内感染者数を抑え込んでいるタイ国にいて、日本からの無症状感染者に来て欲しくはないし、一時帰国もする気もない。(Pm2.5アレルギー発症の既往症で2度も死にかけているから、インフルエンザと中共コロナに罹患したら、役満で箱点間違いないだろうから)今の処、外国人観光客は陰性の診断書を持って来ても14日間の足止めがされているようで、余程の時間と費用のない外国人観光客は入国していないようだ。ナイトバザールも閑古鳥しか鳴いていない。



酒にしても、煙草にしても、何にしても『過ぎたるは及ばざるが如し』で、嗜好の域を脱して飲み過ぎ、吸い過ぎ、やり過ぎて、自分の健康を害したり、他人に迷惑を及ぼしたりしなければ、諺の意味が体得できないというのも、人間の弱みの一面でもある。喫煙者は減少傾向にあるとはいえ、愛煙家は自分の健康被害を心配しながらも、ストレス社会にひと時のくつろぎを求めて一服している。声高に嫌煙権を叫ぶ世論と、弱身に付け込んだ政府の煙草の値上げと闘いながら、肩身の狭い思いで、それでも止められずにいる。そんな中、喫煙者はコロナ予防効果がありそうだという禁煙推進のWHOのデータが発表された。この記事の筆者が、内閣官房参与の飯島勲氏というのも面白い。以下の文書をご覧ください

<https://president.jp/articles/-/37802?page=2>

コロナ予防に喫煙 ?!・?!

科学的・医学的根拠は、後から専門家が調べてくれれば良いという事はいくらでもある。日本の生活習慣・食習慣によって、経験的・伝統的に受け継がれて来た醸造・発酵食品などが、日本人の体をつくり、耐菌力をつけているのかも知れない。現在私は、Pm2.5に悩まされているが、煙草の煙と、Pm2.5の粒子(毒性)とは、明らかに違うという事を、体で感じ(反応し)ている。



日本の病巣 政・財・官…

世界一の金持ち国の国民が、おしなべて貧乏になって来ていて、豊かさどころか日常生活を維持することで手一杯になっている。高度経済成長を遂げていた1970～80年代は、毎年5～10%のペースアップがあったものの、それに合わせて物価上昇率も上がって、豊かさは感じなかったように記憶している。どうしたら、豊かさを享受できるだろうか？…。

人それぞれに豊かさの実感はまちまちだろうが、精神的な豊かさを求める人も、経済的な豊かさを求める人も、まずは、自分自身の豊かさの実感がなければ絵に描いた夢の豊かさに過ぎない

夢の豊かさを実体の豊かさに転換するには、必ずやらなければならない(必須)条件が伴う事を置き去りにして、～たら…。～れば…。で、単なる夢に終わらせている人が殆どだ。必須条件とは、『自己投資』だ。自己投資なくしてリターンも、自助も成り立たない。これをいい加減に省略して、人の権で相撲を取ったり、親の七光りを利用して世渡りしたり、寄らば大樹の陰で果実の落ちてくるのを待つスタンスでは、夢もはかなく終わるし、豊かさの実感も長続きはしない。

しがたない国民がそうなら、政治家の多くに、この典型が当てはまる人をイメージするのは容易い。日本の風土的傾向かと思っていたら、米国ではもっと極端にこの傾向が強いことが分かった。

No	条件	%
1	健康	72.5
2	経済的な豊かさ	54.5
3	家族とのきずな	46.5
4	将来の生活への安心感	28.6
5	時間的な余裕	23.4
6	趣味の充実	19.3
7	仕事の充実	14.0
8	人や社会への貢献	7.9
9	その他	2.4



今回の米国大統領選挙を見ていて、改めて政治家は馬鹿正直では務まらない職業だと再認識させられた。馬鹿正直は、確かにバカの典型でもあるが故に、『正直者はバカを見る』という結果をもたらす。トランプ氏もそういう意味で馬鹿正直な人間である。郵便投票は、不正の温床であることは事前から分かっていた事だが、バイデン側は、考えられる限り様々な手法を使って集計に不正行為を働いたようだ。自由社会に於いてあってはならない行為は、暴力と不正だ。

暴力と不正がまかり通っては、法も秩序も保てない。自由社会ではなくなってしまう。その危機感をトランプ支持者たちが結束して全米で投票結果に異議を表明している。反トランプでもトランプ支持でも、正当な投票がカウントされ不正投票票を除外して、再集計し、自由社会を標榜できる米国であってほしい。詐欺師グループに、バカを見せられた正直者の大逆襲に期待している。

<https://www.youtube.com/watch?v=Y1-2gaatEq0> クーデター選挙
<https://www.youtube.com/watch?v=A4b3el1H5KY> 報道の自由妨害
<https://www.youtube.com/watch?v=qBwMzESCWgs> ピーターナバロ・インタビュー

飼い主がバカだと、飼われている猫までバカ猫に徹して、喰っちゃ寝喰っちゃ寝を繰り返して、十分な昼寝から覚めて、大あくびをしながらストレッチをして、気ままに家の周りや近所の家を一回りして来て、お腹が空いた時だけすり寄って、普段振らない尻尾まで振って餌を懇願し、腹一杯になると、そそくさと夜遊びに出かけてしまう。芸の一つもやらないでも生きていけるのだから、猫は賢いのかも知れない。(幸運をもたらすということでラッキーと名付けたが、猫自身が幸運だった)



日本の病巣がどこにあるのかは問いたすまでもなく、政・官・財…に蠢く反日分子の結託の中にある。政界においては、～議連。官界においては、～閣。財界においては、～連。というように結託の組織が出来上がっている。これを助長しているのが、一般国民の無関心と無意識の構造にあるように思う。自分に直接関係のないものに関しては、興味・関心を持たない。見えていても見ようとしない。我が身に火の粉が降りかかって来てからでは、『火の用心』処ではなくなる。



とっくに終わっていた社民党が、議員・党員が離散し、ついに政党要件も満たせず『オワ！』のようだ。一時期は政権与党に参入し、ブヒブヒ鳴らしていたものの、本性の反日を隠し切れずに、衰退の一途を辿るしか仕方なかったのだろう。反日一辺倒では、大多数の国民はついてこない。暫定政権の様相の濃い現菅政権は、前政権とはかなり色彩を異にしているが、解散総選挙のタイミングが掴み切れないままに年を越し、米中戦争に巻き込まれてどうするのか？

本誌(外地から見た日本)では、前政権を『外交及第・内政落第』と評価して、散々批判して来た。敢えて点数を付ければ、+120点と、-20点で、平均点は50点で、進級できるかどうか微妙な所だったが、体調不良を理由に自ら政権から離脱・降板した。(結果的に正解の選択だったようだ)



在任中には行けなかった靖国参拝も、そそくさと済ませたし、その事に対する批判や風当たりは一部の左傾マスコミがちょこっと取り上げたに過ぎなかった。治療効果も著しく、すっかり元気を取り戻されたようで何よりでした。(願わくば、請われても政権復帰の食指だけは出さないで頂きたい)外交で大活躍されていた時に、内政を丸投げされて仕切っていたのが、今の菅政権であり、私の評価は-20点というとんでもない落第点だという事です。財務省の思惑に乗って、8%・10%の、2回もの消費増税が最悪の施策であった事を筆頭に、取り返しつかない日本づくりの法案を十分な審議を経ずに、通して行った功罪は大きい。その意味から、新政権の手練手管に警戒しなければならないと思っている。案の定、今頃になって『桜を見る会の前夜祭』のパーティー費用が蒸し返されている。安倍・菅両氏とも頼かむりを決め込み、逃げに徹するだろうが、同罪であり、二人の政権争い以外の何物でもない事は、承知しておかなければならない。



50万円/月の年金?! 貨幣価値感覚

誰が、そんな高額な年金を受け取っているのか? そんな人はいない…。処が、チェンマイに在住していると、その実感が体感できる。今現在のガソリン価格は、多少の変動はあっても65円/Lだから、日本の約半額でしょう。更に、20Km/L 走る車に乗っているから、長距離ドライブに出かけても費用負担は感じません。まずは動画から

<https://www.youtube.com/watch?v=krWVVNs7IAA> タイでの生活費はいくら必要?

タイバーツの現在の為替レートは、3000B≒1万円です。動画の貨幣価値感覚を適応すれば、1万円を両替した途端に、3万円の価値が発生したと云う事です。私の年金は、5万B/月ですから即50万円の価値を生み出したと云う事になる訳です。この感覚が分からない人は、もう一度でも二度でも動画を見直して、貨幣価値感覚と国際感覚を身につける事をお勧めします。

両替した時に、桁と紙幣の図柄が変わっただけで、貨幣価値が3倍になったと云う事です。急に金持ちになった事になる訳ですが、おっちょこちょいな日本人は、モノやサービスの値段を円換算して、日本の物価に比べて安い! と思ってしまう訳です。話を戻して、ガソリンの値段は1リットル/21B≒65円ですが、現地の貨幣価値感覚からすれば210円感覚だと云う事で、決して安くはないと云う事です。果たしてガソリン代は高いですか? 安いですか? これが貨幣価値感覚です。



誰でもが、今の収入の倍の収入があれば豊かな暮らしができると思っているでしょう。菅首相に云われるまでもなく、自助の基本は自己収入の増加と捉えれば、『どうしたら…』という発想に切り替えざるを得なくなります。何もせずに世の中の景気がインフレ状況なら、収入増は容易い時代を経験した(団塊世代以上の)老人には、何でいつまでもデフレ状況を『政府主導で堅持』しようとしているのか? 理解に苦しむ。と同時に、政府の無策・無能・無気力に憤りすら感じる。

しかし、憤ったり、怒ったり、批判したところで、一銭も収入は増えない。だったら、この不景気なデフレ下においてどうしたら収入を増やせるか? 何のために収入を増やさなければならないか! を考えてみよう。くどいようだが、私は、どうしたら/こうしたら(How To/Know How)以前に、何のために(目標意識)の方が大切だと思っている者ですから、まずは自分のために、そして、かけがえのない人のために、更には社会のためにというステップを確実に踏んでいくことが大切だと考えています。これこそ、自助・共助・公助の根本でもあると思いますが、如何でしょうか。その上で、現状を打破する行動にヒントを与えてくれる動画をご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=GF_c1hve2Wl 黄金の羽根の拾い方

前号(発刊118号)第四章に記載した夢物語を単なる夢にとどめず、実際に実現しようという企画が『七人の侍プロジェクト』の狙いでもあります。今更、そもそも論を持ち出しても始まりませんが、現職を定年退職して、しばらくしてから受け取る年金所得だけで、悠々自適な暮らしが保証されていない『年金制度』だと誰も理解しないままに年金生活に入っているから、足らなくて当然!

年金2000万円不足問題は、昨年6月に公表した金融庁の「高齢社会における資産形成・管理」試算報告書を、麻生財務大臣が「報告書は受け取らない」と云うことで話題になった問題ですが、セレブで緊縮マインドに洗脳された麻生大臣にしてみれば「足りないなら、自分で何とかしろヨ!」と云わんばかりの対応で、『国民に豊かさを提供するのが国(政治家)の務め』だという義務と責任を放棄し、回答拒否。権力の座でふんぞり返っている。(遠からずタダの人になるのだが)



『国民がどうなろうと知ったこっちゃない』スタンスをとる『麻生がどうなろうと知ったこっちゃない』訳だが、当事者たる我ら貧乏国民は、本当の貧困国民になる前に手を打たなければならないだろう。かなり手遅れ気味ではあっても、手をこまねいて貧乏神を呼び込む事までしたくない。

『足るを知る』賢明な読者諸兄の当面のターゲット(目標)は、年金倍増に置いてもらえば達成し易い。が、捕らぬ狸の皮算用に舌なめずりをする前に、見込み客づくりに東奔西走しなければならない。いくら良い商品があっても、買ってくれる顧客がいなければ商売は成り立たない。『誰が買ってくれるのか?』という、素朴な疑問を呈する人は、Topセールスマン間違いなしの人。答えは、『必要とする人』『欲しいと思っている人』『探していた人』『知って感動した人』…等です。東奔西走は、情報の送受信とも云えるでしょう。これに手ごたえを感じてから実務に入りましょう。

世界的な混乱と、経済危機の中にあって、『今だけ・カネだけ・自分だけ』が自助のスローガンになっているような気がする。今だけでなく、持続・継続するものでなければならないし、カネだけでなく、付加価値/利益であり、経費が賄える原価・価格であり、自分だけでなく、関わる全ての人々が恩恵に浴し、援けられ、喜ばれ、リピーターや紹介客に繋がっていくことが、真の自助だろう。



今こそ、共存共栄の力を結集し発揮する時でしかない。時間を持って余しているなら時間を出せ、力を持って余しているなら、汗を出せ、知恵があるなら絞り出せ、なけなしの資金でも、増やしたいなら金を出せ、小さな力の結集が必要な時だ。何はさておき、今、自助の行動を起こす好機だ。

驕れる者は…

久しからず。という定番は、古今東西(共通項)で結ばれているにも拘らず、性懲りもなく権力に固執する餓鬼が横行して、世を乱しまくっている。今回の米国大統領選挙は、空前の権力闘争で、単に民主党Vs共和党の闘いではなく、グローバリストVsナショナリストの戦いであるように感じる。これは、米国に限らず日本においても同様だという事だ。

本誌10月号(発刊117号)の一面の表題は、『雌伏雄飛?!』として、『小柄な大器の雄飛?!』を期待したが、やはり小手先遣いの小物であった。取り巻きにエリート面したバカばかり集めては雄飛は成らずで、ホゾを噛むしかないだろう。解散総選挙のタイミングを外している間に、中共コロナはインフルエンザ流行時期と相まって第3波を迎えてしまい、選挙どころではない。更には米国大統領選挙で、決まっていなかった候補者に祝辞を送るといって『軽率で、おっちょこちょい』な醜態まで晒している。トランプ大統領は、軽薄な行動に対しては寛容では済まさないだろう。武士の志をもたない小心者は『結果は、プロセスの一部であって、一つの結果は全てではない』という事を知らない。『結果がすべて!』という奴ほど、結果に責任を負わない。(安倍氏も同様)



『負けたら、リベンジ(江戸の仇は長崎で…)』一度の敗戦で魂まで負け、腐って、どうするというのが、トランプ魂であり、大和魂でもある。(大石久和先生の魂からの国土学をご覧ください)

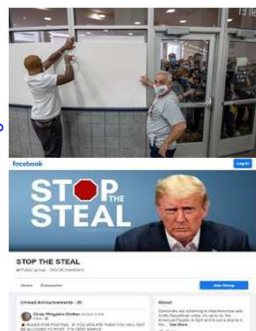
<https://www.youtube.com/watch?v=7hvDdfRDAYw> 紛争と災害の人類史 大石久和



「高が…」という金銭感覚は、人によって様々だが、この時期になって今更ながら『桜を見る会』の前夜祭パーティーで916万円を安倍事務所側で負担していたものが、隠蔽されていたとすっぱ抜かれ、安倍・菅両氏共に直接関与していないと、とぼけに徹しているが、問題は『カネの問題』ではない。麻生・安倍ラインの政権復帰を画策しての動きと、派閥を持たない成り上がり政権のあがき、復帰阻止の動きと捉えれば分かり易い。(両者共に、あまりにも姑息で辟易とする)

単なる英語使いで国際感覚のない外務大臣と、中共のパシリ王毅とのやり取りは、日本国民の反感をエスカレートさせただけで、菅政権自ら中共包囲網を破ったことの自覚があるのだろうか? トランプ政権も、米国民も、世界中が目覚め、中国と中共ば別物という意識が鮮明になっているのに、バイデンに祝辞を送った瞬間から軸足を中共に置かざるを得なくなった。『国民のためにどう働くのか』改めて問い質したい。腹と肝を据えて、中共から180度転換させる政策を打ち出し、国民に安心と豊かさをもたらす事を最優先に即刻実行しなければ、又しても機を失う。

それにしても、世界最強国の米国が、ディープステートのグローバリストに此処まで侵されていたとは思わなかった。『自由・民主・民権・平等・公平・公正』を理想として掲げている多民族国家が、拝金主義・覇権主義者たちによって分断の危機に瀕している。寸での処で、多くの米国人は気づいたようだ。トランプ大統領が敗北宣言しないという言行を見て『何故か?』と思ったからだろう。



結果はついて回るから、今回の米国大統領選挙では、負けるかも知れない。しかしプロセスだ。高らかに「アメリカンファースト」を貫き続ける姿には敬意を払いたい。日本も「国民ファースト」を貫く姿を見せてこそ、対等に付き合える。権力におもねったら、付け込まれるだけで、全てを失う事くらい小学生でも分かっている事が、エリートや権力者になると分からなくなるらしい。犯罪・不正・暴力・が、まかり通り権力を奪取するには何でもありの暗黒社会に未来はない。



名ばかりのジャーナリストを騙って、現地取材もせずフェイクニュースを流しまくっているマスコミと、メディアのサラリーマンには真似ができないような決死の現地取材に赴いている我那覇真子さんは素晴らしい。同様に、パウエル弁護士も、正義を貫く姿勢が素晴らしい。(以下の動画を)

<https://www.youtube.com/watch?v=Vzc-P4Fiz5I&t=1> パウエル弁護士のツイート
https://www.youtube.com/watch?v=8H0I_nwQbv8 我那覇真子 in DC-1
<https://www.youtube.com/watch?v=KFIGMyaaH5U> 我那覇真子 in DC-2
<https://www.youtube.com/watch?v=8mjYGXo440I> 我那覇真子 in DC-3
<https://www.youtube.com/watch?v=ANNUp9WaVLI> ジュリアーニ弁護士

今年も残り1ヶ月余り♪ もういくつ寝ると、お正月…♪ 波乱の2020年も過ぎ去り、大波乱の2021年にどう対処するか、くよくよ悩んだり心配しても、すべからく、なるべくしてなる(ケ・セラセラ)。まずは、下記動画を参考に、十分な睡眠をとって、免疫力(自然治癒力)を高めましょう。《PR:さらなる栄養補給による免疫力強化には、ご存じ!RJをお勧めします》

<https://www.youtube.com/watch?v=KprJHGBfL8> 超ライフハックの解説

<https://www.youtube.com/watch?v=PSGXvaPY0JY> 運のいい人・悪い人の解説

ついでと云っては失礼ですが、気になる隣国の最新情報を、付け加えさせていただきます。♪〇〇は死んでも直らない♪で、大笑いして下さい。笑いはリラクゼーションでもあります。

<https://www.youtube.com/watch?v=3uKydMsXVpk> 最新/韓国・北朝鮮情報-1

<https://www.youtube.com/watch?v=UD5vTq3Y77M&t> 最新/韓国・北朝鮮情報-2

それでは、よいお年をお迎えください。

